

日本医史学会会則抄

第一条 この会は、日本医史学会(Japan Society of Medical History)とす。

第二条 この会は、事務所を下町東京都文京区本郷二一ー一順天堂大学医学部医史学研究室室内におく。

第三条 この会は、医史を研究しその普及をはかるを目的とする。

第四条 前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学術集会、その他講演会、学術展観の開催等
- (2) 機関誌『日本医史学雑誌』『日本医史学会会報』および関係図書等の刊行

(3) 日本の医史学界を代表して、内外の関連学術団体等との連携

(4) その他前条の目的を達成するために必要な事業

第五条 この会の会員は次のとおりとする。

(1) 正会員
この会の目的に賛同し会費年額一〇、〇〇〇円を納める者ただし、外国居住者は年額50ドルとする

(2) 名誉会員

この会に対し功績顕著であった者で評議員会の議決ならびに総会の承認を得た者

(3) 賛助会員

この会の目的事業に賛助し会費年額一三、〇〇〇円以上を納める者、または団体

第六条 正会員になろうとするものは評議員の紹介により、

理事長の承認を得て入会金二、〇〇〇円およびその年度の会費を添えて所定の入会申込書を提出しなければならぬ。

第七条 名誉会員は次の各号の何れかに該当し、理事会・評議員会が功績顕著と認めた者であることを要する。

(1) 三十年以上の在籍正会員であつて七十歳に達した者

(2) 前理事長

(3) 正会員または外国人で功績顕著な者

名誉会員は終身として会費を免除することができる

第八条 賛助会員になろうとする者も第六条に準ずる。

第九条 第六条及び第八条の会員の資格取得は会費納入日より始まる。

第十条 会員には次の権利がある。

(1) この会の発行する機関誌の無償配付をうけること

(2) 機関誌に投稿すること

(3) 総会、学術大会、学術集会その他の事業に参加すること
第十一条 会員は、会費を前納し総会の議決を尊重しなければならない。

第十二条 会員は次の事由によつてその資格を失う。

(1) 退会

(2) 会費の滞納が一年以上を経過したとき

(3) 禁治産、準禁治産または破産の宣告

(4) 死亡、失踪宣告または会員である団体の解散

(5) 第十四条による除名処分

第二十三条 この会は学術大会を毎年一回開催し、学術集会

は随時開催する。

1 この会には、年一回学術大会を主宰するために会長を一名おく。

2 会長は、理事会の推薦により、通常総会毎に理事長が委嘱する。

3 会長の主宰する学術大会は、この会の通常総会と同時に開催することを原則とするがやむを得ない事情のある場合は評議員会または総会の承認を得て変更することができる。

4 会長の任期は、学術大会を議決した通常総会の翌日から次の学術大会を終了するときまでとする。

5 会長は必要に応じ理事会に出席しこれと密接な連絡のもとに計上予算を勘案して企画運営する。

6 会長に事故あるとき、または欠けたときは新たに会長を委嘱するまで理事長がその職務を代行する。

7 会長は、学術大会関係事務を委嘱するために、会員のうちから学会委員若干名を選任することができる。

8 学術集会は随時理事長主宰のもとに開くことができる。

文部省科学研究費学術定期刊行物補助金を受ける

本誌は昨年度にひきつづき文部省の科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付を受けて刊行している。

投稿規定（平成五年六月一日改訂）

一 本誌に掲載する論文は医史学研究に貢献しうるもので他

誌に未発表のものとする。

二 投稿者の資格は共著者も含めて本学会会員とする。ただし編集委員会が特に認めたものはこの限りでない。

三 原稿の区分は、原著・総説・研究ノート・広場・資料・紹介・消息等とし、その採否は編集委員会が決定する。

原著・研究ノートは編集委員会の委嘱する審査委員が査読し、それにもとづいて採否および区分を編集委員会が決定する。

四 執筆要項

a 原稿は二〇〇字または四〇〇字詰め縦書き原稿用紙を使用のこと。ワープロ（縦書）の使用も可。一行は二〇字または四〇字とし行数を原稿に記すこと。

b 原著・総説・研究ノート・広場・資料の場合は、欧文表題・ローマ字著者名を原稿の末尾に記し、原著および研究ノートにおいては欧文抄録（二五〇語以内）とその対訳和文を添えること。

c 欧文題名・欧文抄録での日本人名の表記については、五 外国語原稿の e 項に準ずるものとする。

d 原稿の末尾に著者の所属および連絡先を記載すること。表記は原則として常用漢字・人名用漢字以内で、新たなづかいを使用する。難字は欄外にも楷書で別記する。

e 外国の人名・地名は、よく知られたもののほかは初出の箇所に原綴またはローマ字を添えることが望ましい。

f 図・表は明瞭に書き、写真は原則として白黒の紙焼きとする。裏には著者名・番号・天地を明記し、挿入位